

平和ってなんだろう

喜名小学校 四年一組 組員 送世

沖縄では、六月に入ると毎年「戦争」や「平和」について学校や地域で考えます。理由は、七十一年前の六月二十三日に沖縄県の地上戦が終わった日からです。

ぼくのおばあちゃんは、今、誂谷の波平に住んでいて七十一才です。ぼくのおばあちゃんには、戦争の時、まだ〇才で親（ぼくのひいおじいちゃん）とおばあちゃんと一緒に

喜名小学校

外国へにげたそうです。でも、外国の戦争もとてもはげしかったので、船で、沖縄にもとってきたそうです。

「バーバはね、お父さんもお母さんも戦争でなくして」と。でもおかしかったよー。まだ、小さすぎて顔もおぼえていないそうです。ぼくは、その話を聞いて、「戦争って

こわいなあ。これからも戦争がせたいおきませんように。」と思いました。

今年の六月二十三日も、ぼくの住む座喜味

では、「いれいさい」がありました。ぼくは、
座喜味のいいちゃんとはあちゃんが大切に育
てた白い花を、公民館に持っていき、それを
戦争でなくな。た方達にまつりました。
公民館では、写真があり、その写真は、戦
争の時に子どもだ。たおじいちゃんとおばあ
ちゃんかとられた写真でした。
他の写真では、けがをしたり、命をなくし
てしまったりした人の様子が写されていてまし
た。

喜名小学校

ぼくは、その写真を見て「とてもかわいそ
うだな。」戦争。てすごくいさんな事なんだ
な。」と思えました。
これから先、ずつと、戦争がおきてはだめ
だと思えました。
平和な世界であるように、ぼくも、おじい
ちゃん、おばあちゃんから聞いたことを、自
分の子どもやまごに伝えて、いれいさいの日には
公民館のいれいさいにずつと参加していきたく
なと思えます。